



富山県魚津市は、富山県東部の中心都市として賑わってきました。北西には富山湾が広がり「蜃気楼・埋没林・ほたるいか」が三大奇観として広く知られています。



富山湾に浮かぶ蜃気楼

また、来年には第六十八回全国植樹祭が開催されることとなっています。

蜃気楼は大気中の温度差によって光が屈折を起し、遠方の風景などが伸びたり、反転した虚像が見られたりする現象で、当市からは富山湾に浮かぶ工場地帯の風景や反転した船舶などが見られます。

この博物館は富山湾の二つの不思議と言われる「埋没林」と「蜃気楼」に出会える場所として多くの方が訪れる場所です。

埋没林は、約二千年前に、片貝川の氾濫によって流れ出た土砂がスギの原生林を埋めつくし、その後海面が上昇し出



水中展示された埋没林の樹根



魚津埋没林博物館

す。蜃気楼は、四月～五月の午前十一時～午後四時頃で気温十八度以上の時に、よく現われます。見どころスポットの、魚津生地入善線の北鬼江交差点から、海の駅交差点の富山湾沿いの海岸道路は、「しんきろうロード」と呼ばれ多くの方が訪れます。

◇魚津埋没林博物館

しんきろう

展示場では、埋没した樹齢約五百年のスギの根っこをその場で保存・展示しており、縄文時代の気象の変化を証明する貴重な資料として、国の天然記念物にも指定されています。実際に見ると、その大きさに圧倒されます。

◇魚津桃山運動公園

博物館から、山に向かって約六キロメートル程進んだところに運動公園があります。



魚津桃山運動公園

この運動公園は魚津市の高台に位置し、僧ヶ岳や富山湾を望むことができる自然豊かな場所であり、本格的な各種スポーツ施設から、ピクニックやアスレチックなど、親子で楽しめるコミュニティ

テイパークとして人気を集めています。この運動公園は来年に開催される「第六十八回全国植樹祭」のメイン会場として使用されることとなっています。

◇洞スギ

南又谷流域の標高五〇〇メートル七〇〇メートル付近に生林している推定樹齢五百年生の天然スギで、幹に空洞があることから洞スギと呼ばれています。

特徴としては、人工林のスギのように地面から垂直に幹が伸びているのと違い、多くは巨大な石の上に乗るような形で生育しており、その景観からして他では見られない独特の景観を呈しています。



洞スギ

◎アクセス

魚津埋没林博物館

○電車での場合

あいの風とやま鉄道魚津駅から徒歩二十分

○車での場合

北陸自動車道魚津ICから車で十分(写真の一部は魚津埋没林博物館提供)